

2023 年 4 月 9 日

2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 無料学習塾 日野すみれ塾

代表者・役職名 氏名 仁藤 夏子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

教育から共育へ コロナ禍の子供たちに思い出にのこるイベントプロジェクト

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

さまざまな事情で有料の塾サービスに通っていない小、中学生を対象としたボランティア講師による無料の学習支援活動をしています。小学生クラス、14名、中学生クラス13名在籍

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

学びとは教室の中だけの狭い範囲だけではなく、友達と遊びに行ったり、知らない土地に行って興味を持ったり、さまざまな職業の人にふれることで考え学ぶことであり、子供時代の成長速度は大人と異なり貴重な時代です。長引くコロナで子供時代に学ぶ機会が失われそれによる心の問題や体力不足、不登校、若者の自殺などが増えておりこの事業で子供たちの心の豊かさをつくっていきたいと思っている

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2019年度にこちらの助成金を申し込みし事業の一つである2期生の生徒たちと卒業遠足としてディズニーランドに行く企画をしていましたが、コロナによりディズニーランドが運営を休止したため卒業遠足に行くことができませんでした。コロナは収まらず中学生たちは就学旅行も卒業旅行もできないまま高校生となりました。2022年度は5期生が卒業する年にあたりすみれ塾としても卒業遠足を行けなかった2期生、3期生、4期生と2022年度に卒業を迎える5期生みんなで卒業遠足をしたと考えています。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

卒業遠足を楽しみに、受験生全員志望校合格することができた。2022年度の受験生の7名のうち2名は昭和高校など高倍率の高校も進学できた。生徒たちがひたむきに勉強に向かうことができるのは、たくさんの応援している人の存在があったからだと感じている。また大学進学した卒業生に久しぶりにあうことができ元気な姿を確認できた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

不登校、発達障害、心の問題、学校以外の学びの場の少なさ…コロナによって子供たちの環境は変化し課題も複雑化してきている。子供たちは声が小さく課題がみえにくい、コロナ前より困りごとが多い子が確実に増えていることを大人たちにもっと理解してもらい共に育ちあう環境づくりをしていきたい

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

